

※ 調査実施の際には、質問の最後に（ひとつだけ）と記されている問には、複数の回答ができないように制御を行い、質問の最後に（いくつでも）と記されている問についても、*の付いている選択肢については、他の選択肢と同時に選択できないように制御を行った。

「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査」調査票

1.最初にあなたご自身のことについておうかがいします

Q1-1. あなたの性別は。(ひとつだけ)

- 男
- 女

Q1-2. あなたの年齢は。(ひとつだけ)

▽以下から▼

Q1-3. あなたは現在学生ですか。(ひとつだけ)

- 学生ではない
- 現在は学生だが、これまでにいったん学校を出て仕事についたことがある
- 現在まだ学生で、これまでに学校を出て仕事についたことはない

Q1-4. あなたが、学校を出た年齢はおいくつですか。(ひとつだけ)

▽以下から▼

Q1-5. あなたの居住地はどちらですか。(ひとつだけ)

- 東京都 23 区内・政令指定都市
参考：政令指定都市
札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜市、新潟市、静岡市、
浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
- それ以外の市
- 町村

Q1-6. あなたの世帯の人数は何人ですか。あなた御自身を含めた人数をお答えください。(ひとつだけ)

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人以上

【Q1-6で「2人」～「6人以上」を選択した方のみ】

Q1-6SQ1. あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(いくつでも)

- 配偶者
- 自分の親
- 配偶者の親
- 子ども
- 兄弟姉妹
- 親戚
- 友人
- その他

1-7. あなたの世帯全体の年間収入(税・賞与込み)はどのくらいですか。(ひとつだけ)

- 100万円未満
- 100万円以上 200万円未満
- 200万円以上 300万円未満
- 300万円以上 400万円未満
- 400万円以上 500万円未満
- 500万円以上 600万円未満
- 600万円以上 700万円未満
- 700万円以上 800万円未満
- 800万円以上 900万円未満
- 900万円以上 1000万円未満
- 1000万円以上 1250万円未満
- 1250万円以上 1500万円未満
- 1500万円以上 2000万円未満
- 2000万円以上
- わからない

2.あなたが学校を出て初めて仕事についた時のことについておうかがいします

Q2-1. あなたが最後に出られた学校について教えてください。現在在学中のもの、専修学校や専門学校は除きます。(ひとつだけ)

- 中学校卒業
- 高校中退
- 高校卒業
- 短大、高専中退
- 短大、高専卒業
- 大学中退
- 大学卒業
- 大学院中退または修了
- その他

Q2-2 あなたは Q2-1 で回答された学校を卒業、または中退された後に、専修学校や専門学校を卒業されていますか。(ひとつだけ)

※Q2-1 で「その他」を選択した人には、「あなたは専修学校や専門学校を卒業されていますか。」として質問。

- 専修学校・専門学校を卒業した
- 専修学校・専門学校を中退した
- 専修学校・専門学校に在学している
- 専修学校・専門学校に通ったことはない

Q2-3. あなたが学校を出て初めて社会に出た時、将来の仕事や働き方についてどのように考えていましたか。(それぞれひとつずつ)

	そう思った	どちらかといえばそう思った	どちらかといえばそう思わなかった	そう思わなかった	わからない
管理職として、組織の経営や管理に携わりたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分自身で独立して仕事をしたい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2-4. あなたは学校を出てから仕事についたことがありますか。(ひとつだけ)

- はい
- いいえ

Q2-5. あなたが学校を出てから現在までの期間のうち、以下のそれぞれの期間を教えてください。(半年未満は切捨て、半年以上は切上げで年単位にして、各々あてはまる数字をひとつだけ選んでください)該当する期間がない場合は「0年」を選んでください。(それぞれひとつだけ)

年齢:

学校を出た年齢:

学校を出てから現在までの期間 年のうち、

1.働いていなかった期間

▽以下から▼

わからない

2.正社員、正規職員として働いていた期間

▽以下から▼

わからない

3.有期契約社員、嘱託社員、パート、アルバイトとして働いていた期間

▽以下から▼

わからない

4.派遣社員として働いていた期間

▽以下から▼

わからない

5. 起業・自営業、内職、家族従業者として働いていた期間

▽以下から▼

わからない

Q2-6. あなたが学校を出て初めて仕事についた年齢はおいくつですか。(ひとつだけ)

▽以下から▼

Q2-7. あなたが学校を出てから、勤め先を辞めた回数(勤め先を変えるために辞めた回数、起業・独立するために辞めた回数、および自営の方が事業を変った回数を含みます)は、何回ですか。ただし、出向や育児休業などの休職、契約期間満了に伴う派遣先変更は含みません。(ひとつだけ)

実数

▽以下から▼

3.あなたが初めて仕事についてからの5年間で最も長く勤務した勤め先についてお聞きします

ここからは、初めて仕事についてからの5年間で、最も長い期間勤務された勤め先を、「A社」として、そのA社での就業状態についてお聞きします。自営の場合は従事した事業、派遣社員の場合は派遣先の状況についてお答えください。

現在も「A社」で働いている方は、初めて仕事についてからの5年間のことを「A社」と考えてお答えください。

なお、学校を出て初めて仕事についてからまだ5年経っていない方は、これまで一番長く勤務された勤め先を「A社」と考えてお答えください。

Q3-1. あなたのA社での就業形態はどれでしたか(どれですか)。就業形態が途中で変わった方は最も長い期間従事した就業形態をお答えください。(ひとつだけ)

- 正社員、正規職員
- 有期契約社員、嘱託社員
- パート、アルバイト
- 派遣社員
- 内職
- 自ら起業、自営業(農林漁業の場合を含む)
- 自営の家族従業者(農林漁業の場合を含む)
- その他

【Q3-1 で「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」を選択した方のみ】

Q3-1SQ1. あなたがA社で正社員・正規職員ではなかった(正社員・正規職員ではない)主な理由は何ですか。(いくつでも)

- つきたい仕事を探したり、つきたい仕事への準備や訓練の機会が必要だったから(必要だから)
- 希望にあうような収入の得られる正社員・正規職員の仕事がなかったから(ないから)
- 正社員・正規職員では、家事や育児、介護など家庭の事情と両立できるような働き方ができなかったから(できないから)
- 正社員・正規職員では、自己啓発や地域活動など仕事以外のやりたいことと両立できるような働き方ができなかったから(できないから)
- 正社員・正規職員では、自分にあつた自由な働き方ができなかったから(できないから)
- 正社員・正規職員として働くことのできる会社が見つからなかったから(見つからないから)
- 正社員・正規職員としては採用されなかったから
- 正社員・正規職員ではない働きの方が、専門的な資格や技能を活かせるから(活かせるから)
- 健康上の理由から
- その他
- 特になし *

Q3-2. A社であなたが最も長く経験した職種は、何でしたか(何ですか)。(ひとつだけ)

- 専門的・技術的な仕事
- 管理的な仕事
- 事務の仕事
- 販売の仕事
- サービスの仕事
- 保安の仕事
- 運輸・通信の仕事
- 生産工程・労務の仕事
- 農林漁業の仕事
- その他

Q3-3. A社の従業員規模(その会社・組織全体のすべての従業者数)は、おおよそどのくらいでしたか(どのくらいですか)。官公庁の場合は「官公庁」を選んでください。(ひとつだけ)

- 1人
- 2~4人
- 5~9人
- 10~29人
- 30~99人
- 100~499人
- 500~999人
- 1000人以上
- 官公庁
- わからない

Q3-4. A社の状況としてあてはまるものは、どれでしたか(どれですか)。(それぞれいくつでも)

【仕事以外の時間のとりやすさについて】

- 育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できた(できる)
- 育児や介護などと仕事の両立に配慮や理解があった(ある)
- 残業や休日出勤が少なかった(少ない)
- 休暇が取りやすかった(やすい)
- フレックスタイムや在宅勤務など自分の都合に合わせて働くことができた(できる)
- あてはまるものはない *
- わからない *

【仕事の内容について】

- 仕事で、期待されたり、頼られていると感じることがあった(ある)
- 仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会があった(ある)
- 昇給や昇進、職種転換の機会があった(ある)
- 仕事を通じて、自分の技術や能力を伸ばしていくことができた(できる)
- やってみたい仕事やポストに異動する機会があった(ある)
- あてはまるものはない *
- わからない *

【処遇の公正さや女性の活用について】

- 人事評価が公正だった(公正である)
- 処遇に男女差がなかった(ない)
- 女性の先輩や管理職が多くいた(いる)
- 仕事と家庭を両立しながら、仕事もキャリアアップできる環境だった(環境である)
- 女性社員の能力発揮のために、組織全体で努力していた(努力している)
- あてはまるものはない *
- わからない *

Q3-5. A社での年収(税・賞与込み)は、どれくらいでしたか(どれくらいですか)。(ひとつだけ)

- 50万円未満
- 50万円以上 100万円未満
- 100万円以上 150万円未満
- 150万円以上 200万円未満
- 200万円以上 250万円未満
- 250万円以上 300万円未満
- 300万円以上 400万円未満
- 400万円以上 500万円未満
- 500万円以上 600万円未満
- 600万円以上 700万円未満
- 700万円以上 800万円未満
- 800万円以上 900万円未満
- 900万円以上 1,000万円未満
- 1,000万円以上 1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

Q3-6. A社からの離職の有無と現在の状況を教えてください。なお、離職には、育児休業等の休職や、出向は含みません。(ひとつだけ)

- 現在まで継続してA社で働いている
- A社を辞めて、現在は別の勤め先で勤務している
- A社を辞めて、現在は起業、自営、内職などをしている
- A社を辞めて、現在は仕事をしていない
- その他

4.ここでは、あなたの現在の勤め先についておうかがいします

ここからは、現在の勤め先について、おうかがいします。自営の方は従事している事業、派遣社員の方は派遣先の状況についてお答えください。

先ほどの質問のA社での勤務を現在まで続けている方も、現在の状況について再度お答えください。また、先ほどのA社に関する質問と同じ回答になる箇所についても、お手数ですが再度ご回答いただきますよう、お願いいたします。

Q4-1. あなたの現在の勤め先での就業形態はどれですか。(ひとつだけ)

- 正社員、正規職員
- 有期契約社員、嘱託社員
- パート、アルバイト
- 派遣社員
- 内職
- 自ら起業、自営業(農林漁業の場合を含む)
- 自営の家族従業者(農林漁業の場合を含む)
- その他

【Q4-1で「有期契約社員、嘱託社員」「パート、アルバイト」「派遣社員」を選択した方のみ】

Q4-1SQ1. あなたが、現在の勤め先で正社員・正規職員ではない主な理由は何ですか。(いくつでも)

- つきたい仕事を探したり、つきたい仕事への準備や訓練の機会が必要だから
- 希望にあような収入の得られる正社員・正規職員の仕事がないから
- 正社員・正規職員では、家事や育児、介護など家庭の事情と両立できるような働き方ができないから
- 正社員・正規職員では、自己啓発や地域活動など仕事以外のやりたいことと両立できるような働き方ができないから
- 正社員・正規職員では、自分にあつた自由な働き方ができないから
- 正社員・正規職員として働くことのできる会社が見つからないから
- 正社員・正規職員としては採用されなかったから
- 正社員・正規職員ではない働きの方が、専門的な資格や技能を活かせるから
- 健康上の理由から
- その他
- 特になし *

Q4-2. あなたが現在担当している仕事は、新卒で採用された人が、どれくらいの期間の経験を積みばできるような仕事の内容ですか。現在、仕事をしていない方は、最後に働いていたときの仕事についてお答えください。(ひとつだけ)

▽以下から ▾

Q4-3. 現在の勤め先でのあなたの職種は、何ですか。(ひとつだけ)

- 専門的・技術的な仕事
- 管理的な仕事
- 事務の仕事
- 販売の仕事
- サービスの仕事
- 保安の仕事
- 運輸・通信の仕事
- 生産工程・労務の仕事
- 農林漁業の仕事
- その他

Q4-4. あなたの現在の勤め先の従業員規模(その会社・組織全体のすべての従業者数)は、おおよそどれくらいですか。官公庁の場合は「官公庁」を選んでください。(ひとつだけ)

- 1人
- 2~4人
- 5~9人
- 10~29人
- 30~99人
- 100~499人
- 500~999人
- 1000人以上
- 官公庁
- わからない

Q4-5. あなたの現在の勤め先の状況としてあてはまるものは、どれですか。
(それぞれいくつでも)

【仕事以外の時間のとりやすさについて】

- 育児休業など家庭と仕事の両立を支援する制度が利用できる
- 育児や介護などと仕事の両立に配慮や理解がある
- 残業や休日出勤が少ない
- 休暇が取りやすい
- フレックスタイムや在宅勤務など自分の都合に合わせて働くことができる
- あてはまるものはない *
- わからない *

【仕事の内容について】

- 仕事で、期待されたり、頼られていると感じることがある
- 仕事で自分のアイデアや企画を提案する機会がある
- 昇給や昇進、職種転換の機会がある
- 仕事を通じて、自分の技術や能力を伸ばしていくことができる
- やってみたい仕事やポストに異動する機会がある
- あてはまるものはない *
- わからない *

【処遇の公正さや女性の活用について】

- 人事評価が公正である
- 処遇に男女差がない
- 女性の先輩や管理職が多くいる
- 仕事と家庭を両立しながら、仕事もキャリアアップできる環境である
- 女性社員の能力発揮のために、組織全体で努力している
- あてはまるものはない *
- わからない *

Q4-6. あなたの現在の年収(税・賞与込み)は、どれくらいですか。(ひとつだけ)

- 50万円未満
- 50万円以上 100万円未満
- 100万円以上 150万円未満
- 150万円以上 200万円未満
- 200万円以上 250万円未満
- 250万円以上 300万円未満
- 300万円以上 400万円未満
- 400万円以上 500万円未満
- 500万円以上 600万円未満
- 600万円以上 700万円未満
- 700万円以上 800万円未満
- 800万円以上 900万円未満
- 900万円以上 1,000万円未満
- 1,000万円以上 1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

Q4-7. 現在の仕事は、先ほどの質問のA社での仕事と比べて、より難しい、あるいはより責任のある内容だと思えますか。A社での勤務を現在まで続けている方は、現在の仕事と初めて仕事についてからの最初の5年間の仕事を比較して教えてください。(ひとつだけ)

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- どちらともいえない
- わからない

Q4-8. 現在の仕事での、週あたり平均勤務日数と平均実労働時間(残業含む)は、どれくらいですか。(それぞれひとつだけ)

週あたりの平均勤務日数

週あたりの平均実労働時間

Q4-9. 現在の仕事での1日の通勤時間(片道)は、どれくらいですか。(ひとつだけ)

片道

Q4-10. あなたは、現在の勤め先についてどのように感じていますか。(ひとつだけ)

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば満足していない
- 満足していない
- どちらともいえない
- わからない

Q4-11. 現在の勤め先の状況について、あてはまると思うものを選んでください。
なお、ご自身が管理職として働いている場合には、ご自身の状況についてあてはまるものを選んでください。(いくつでも)

ここでは、管理職を「部下を持ってその育成や評価を行い、一定の範囲の業務に責任を持って仕事をする人」と考えてご回答ください。

- 管理職だからといって、残業や休日出勤が多いということはない
- 管理職になるまでに、必要な知識や経験を身につける機会がある
- 管理職になった後も、相談できる同僚や先輩がいる
- 身近に同性の管理職がいる
- 身近に家庭と仕事を両立しながら管理職として活躍している人がいる
- 一度管理職になっても、希望に応じて降格する制度がある
- 管理職に大きな権限が与えられている
- 転勤できることが管理職につく要件とされない
- あてはまるものはない *
- わからない *

【Q2-4「学校を出てから仕事についたことがありますか」で「いいえ」を選んだ方と Q3-6 で「A社を辞めて、現在は仕事をしていない」を選んだ方のみ】

Q4-12. あなたは現在、仕事につきたいですか。(ひとつだけ)

- 仕事につきたい
- 仕事につきたくない

**Q4-12SQ1. あなたが現在、仕事についていない主な理由は
何ですか。(いくつでも)**

- 希望する地域で仕事が見つからないから
- 希望にあうような収入の得られる仕事がないから
- 家事や育児、介護など家庭の事情と両立できるような仕事がないから
- 自己啓発や地域活動など仕事以外のやりたいことと両立できるような仕事がないから
- 条件にはこだわっていないが仕事が見つからないから
- 健康上の理由
- その他

Q5-1. あなたは(現状とは関係なく)今後どのような就業形態で働きたいですか。(ひとつだけ)

- 正社員、正規職員
- 有期契約社員、嘱託社員
- パート、アルバイト
- 派遣社員
- 内職
- 自ら起業、自営業(農林漁業の場合を含む)
- 自営の家族従業者(農林漁業の場合を含む)
- 仕事はしたくない
- その他

Q5-2. あなたは、今後、仕事や働き方についてどのようになりたいと思いますか。
(それぞれひとつずつ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
管理職として、組織の経営や管理に携わりたい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
特定の分野における業績や技能など専門性を高めたい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
仕事以外のやりたいことや家庭を優先して働きたい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
自分自身で独立して仕事をしたい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Q5-3. あなたが、今後の仕事や働き方について、自分自身の希望を実現させるために、していることはありますか。(いくつでも)

- 知人・友人、家族などに相談する
- 現在の勤め先の中で、上司や同僚などと相談したり希望を出したりする
- 現在の勤め先で能力や技術を磨く
- 求職・転職活動をする
- ハローワークなど相談機関に相談する
- 必要な資格や技術を身につけるために自分で学習する
- どんな仕事や勤め先があるかなどの情報を集める
- その他
- 特に何もしていない *

【 Q5-3 で「特に何もしていない」を選択した方のみ 】

Q5-3SQ1. あなたが特に何もしていない主な理由は何ですか。(いくつでも)

- 仕事が忙しいから
- 家事や育児、介護など家庭のことが忙しいから
- フレックスタイムや在宅勤務など働き方の調整ができないから
- 費用がかかるから
- どのようなことをしてよいか分からないから
- 自分に合った学習の方法が見つからないから
- 努力しても、希望する働き方や仕事につけるとは限らないから
- 特に何かする必要を感じないから
- その他
- 特に仕事や働き方に希望はないから

6. 結婚と子育てについておうかがいします

Q6-1. あなたは、配偶者がいますか。(ひとつだけ)

- 配偶者がいる
- 離別・死別した
- 結婚したことはない

【Q6-1で「配偶者がいる」を選択した方のみ】

Q6-1SQ1. あなたの配偶者の就業形態は、どれですか。(ひとつだけ)

- 正社員、正規職員
- 有期契約社員、嘱託社員
- パート、アルバイト
- 派遣社員
- 内職
- 自ら起業、自営業(農林漁業の場合を含む)
- 自営の家族従業者(農林漁業の場合を含む)
- 働いていない
- その他

【 Q6-1で「配偶者がいる」を選択した方のみ 】

Q6-1SQ2. あなたの配偶者の年収(税・賞与込み)は、どれくらいですか。(ひとつだけ)

- 50万円未満
- 50万円以上 100万円未満
- 100万円以上 150万円未満
- 150万円以上 200万円未満
- 200万円以上 250万円未満
- 250万円以上 300万円未満
- 300万円以上 400万円未満
- 400万円以上 500万円未満
- 500万円以上 600万円未満
- 600万円以上 700万円未満
- 700万円以上 800万円未満
- 800万円以上 900万円未満
- 900万円以上 1,000万円未満
- 1,000万円以上 1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

【 Q6-1で「配偶者がいる」を選択した方のみ 】

Q6-1SQ3. あなたとあなたの配偶者の間では、家事や育児、生計をどのような割合で分担していますか。(自分自身と配偶者で合計が10になるように数字を選んでください) (それぞれひとつだけ)

1.家事、育児

自分自身

配偶者

2.生計を立てるため収入を得る

自分自身

配偶者

【 Q6-1 で「配偶者がいる」「離別・死別した」を選択した方のみ 】

Q6-2. あなたは、結婚をきっかけに勤め先を辞めたことがありますか。ただし、休職や出向は除きます。勤め先を変った経験の中には、起業・独立したり、自営の方が事業を変った経験を含みます。(いくつでも)

- 結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある
- 結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先に変ったことがある
- 結婚をきっかけとして勤め先を辞めたことはない *

【Q6-2 で「結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある」または「結婚をきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先に変ったことがある」を選択した方のみ】

Q6-2SQ1. あなたが結婚をきっかけに勤め先を辞めたのはなぜですか。結婚をきっかけに勤め先を辞めたことが複数回ある場合は、最初に辞めたときのことについてお答えください。(いくつでも)

- 家事に時間をとりたかったため
- 家事に対して配偶者などまわりの人の支援が得られなかったため
- 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったため
- 家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため
- 配偶者など家族が希望したため
- 辞めるのが当然だと自分自身で思ったため
- 体力面で厳しかったため
- 結婚に伴い転居しなければならなかったため
- 他にやりたいことがあったため
- その他

【Q6-2SQ1で「勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったため」または「家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」を選択した方のみ】

Q6-2SQ2. 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しい、または、家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではないと思ったのはなぜですか。(いくつでも)

- 仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気がなかった
- 残業などで労働時間が長く、時間的に厳しかった
- 仕事と家庭を両立しようとするキャリアアップが難しい環境だった
- 自分の能力や技術を高められる仕事ではなかった
- 昇進や昇格、昇給の見通しが立たなかった
- 同じような状況で仕事をしている人がまわりにいなかった
- 目標となる上司や先輩がまわりにいなかった
- 処遇に男女差があった
- 女性を育成していこうとする会社・組織ではなかった
- いったん辞めてもまたいつでもつける仕事だった
- その他

Q6-3. あなたは、家事や育児、生計の分担は、配偶者との間でどのような割合になることが理想だと思いますか。現状とかかわりなくお答えください。また、配偶者がいない方は、いる場合を想定してお答えください。(自分自身と配偶者で合計が10になるように数字を選んでください)
(それぞれひとつだけ)

1.家事、育児

自分自身

▽以下から▼

配偶者

▽以下から▼

わからない

2.生計を立てるため収入を得る

自分自身

▽以下から▼

配偶者

▽以下から▼

わからない

Q6-4. お子さんはいますか。(ひとつだけ)

- いる
- いない

【 Q6-4 で「いる」を選択した方のみ 】

**Q6-4SQ1. あなたのお子さんは何人いますか。また、末子の方の年齢はおいくつですか。
(それぞれひとつだけ)**

子どもの人数

末子年齢

【Q6-4 で「いる」を選択した方のみ】

Q6-5. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに、あなたが勤め先を辞めたことがありますか。ただし、育児休業等による休職や出向は除きます。勤め先を変った経験の中には、起業・独立したり、自営の方が事業を変った経験を含みます。(いくつでも)

- 妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある
- 妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先に変ったことがある
- 妊娠、出産、子育てをきっかけとして勤め先を辞めたことはない *

【Q6-5で「妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある」または「妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先が変わったことがある」を選択した方のみ】

Q6-5SQ1. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに、あなたが勤め先を辞めた時期はいつですか。妊娠、出産、子育てのいずれかをきっかけに辞めたことが複数回ある場合は、そのすべてについてお答えください。
(いくつでも)

- 最初の子どもの妊娠のとき
- 最初の子どもの出生のとき
- 第二子以降の子どもの妊娠のとき
- 第二子以降の子どもの出生のとき
- 最初の子どもの小学校入学のとき
- 最初の子どもが小学校4年生になったとき以降
- その他の時期

【Q6-5で「妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年を超える期間仕事をしなかったことがある」または「妊娠、出産、子育てをきっかけに勤め先を辞め、1年以内に別の勤め先が変わったことがある」を選択した方のみ】

Q6-5SQ2. あなた自身または配偶者の妊娠、出産、子育てをきっかけに、あなたが勤め先を辞めたのはなぜですか。妊娠、出産、子育てをきっかけに辞めたことが複数回ある場合は、**最初に辞めた経験**についてお答えください。**(いくつでも)**

- 家事・育児に時間をとりたかったため
- 家事・育児に対して配偶者などまわりの人の支援が得られなかったため
- 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったため
- 家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため
- 配偶者など家族が希望したため
- 辞めるのが当然だと自分自身で思ったため
- 体力面で厳しかったため
- 保育所や放課後児童クラブなどの保育サービスが十分利用できなかったため
- 他にやりたいことがあったため
- その他

【SQ2で「勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しかったため」または「家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではなかったため」を選択した方のみ】

Q6-5SQ3. 勤め先や仕事の状況から働き続けるのは難しい、あるいは、家庭と両立する努力をしてまで続けたい仕事ではないと思ったのはなぜですか。(いくつでも)

- 仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気なかった
- 残業などで労働時間が長く、時間的に厳しかった
- 仕事と家庭を両立しようとするとキャリアアップが難しい環境だった
- 自分の能力や技術を高められる仕事ではなかった
- 昇進や昇格、昇給の見通しが立たなかった
- 同じような状況で仕事をしている人がまわりにいなかった
- 目標となる上司や先輩がまわりにいなかった
- 処遇に男女差があった
- 女性を育成していこうとする会社・組織ではなかった
- いったん辞めてもまたいつでもつける仕事だった
- その他

【Q6-2「結婚をきっかけとして勤め先を辞めたことはない」を選択した方のみ】

Q6-6A. あなたが結婚の際に勤め先を辞めなかったのはなぜですか。(いくつでも)

- 仕事を続けることが当然だと思ったから
- 仕事を続けることが生活のため経済的に必要だったから
- 仕事を続けることを配偶者など家族が希望したから
- 仕事を続けても配偶者など他の家族が主に家事・育児をしたから
- 仕事を続けても、家事・育児に対して配偶者などまわりの人の支援が得られたから
- 勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから
- 家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから
- その他
- その時は自分が働いていなかったから *

【Q6-5「妊娠、出産、子育てをきっかけとして勤め先を辞めたことはない」を選択した方のみ】

Q6-6B. あなたが妊娠、出産、子育ての際に勤め先を辞めなかったのはなぜですか。 (いくつでも)

- 仕事を続けることが当然だと思ったから
- 仕事を続けることが生活のため経済的に必要だったから
- 仕事を続けることを配偶者など家族が希望したから
- 仕事を続けても配偶者など他の家族が主に家事・育児をしたから
- 仕事を続けても、家事・育児に対して配偶者などまわりの人の支援が得られたから
- 勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから
- 家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから
- 保育所や放課後児童クラブなどの保育サービスが利用できたから
- その他
- その時は自分が働いていなかったから *

【 Q6-6A で「勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから」または「家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから」を選択した方のみ 】

Q6-6ASQ1. あなたが結婚の際に勤め先を辞めなかった理由として、勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または、家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思ったのはなぜですか。 (いくつでも)

- 仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気があった
- 家庭の状況に合わせて労働時間を調整できた
- 仕事と家庭を両立しながらキャリアアップできる環境だった
- 勤め先で頼られていると感じたり、働き続けるよう励まされることがあった
- 自分の能力や技術を高められる仕事だった
- 昇進や昇格、昇給の見通しがあった
- 同じような状況で仕事をしている人がまわりにいた
- 目標となる上司や先輩がまわりにいた
- 処遇に男女差がなかった
- 女性を育成していこうとする会社・組織だった
- その他

【 Q6-6B で「勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境だったから」または「家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事だったから」を選択した方のみ 】

Q6-6BSQ1. あなたが妊娠、出産、子育ての際に勤め先を辞めなかった理由として、勤め先や仕事の状況が、働き続けられる環境である、または、家庭と両立するための努力をしても続けたい仕事である、と思ったのはなぜですか。
(いくつでも)

- 仕事と家庭を両立して働き続けられる制度や雰囲気があった
- 家庭の状況に合わせて労働時間を調整できた
- 仕事と家庭を両立しながらキャリアアップできる環境だった
- 勤め先で頼られていると感じたり、働き続けるよう励まされることがあった
- 自分の能力や技術を高められる仕事だった
- 昇進や昇格、昇給の見通しがあった
- 同じような状況で仕事を続けている人がまわりにいた
- 目標となる上司や先輩がまわりにいた
- 処遇に男女差がなかった
- 女性を育成していこうとする会社・組織だった
- その他

7. あなたの生活面などに関する意識についておうかがいします

Q7-1. 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたが理想と考えるライフコースは、以下のどれにあたりますか。(ひとつだけ)

- 職業を持たない
- 結婚や出産を機に職業をやめ、その後は職業を持たない
- 結婚や出産を機に職業をやめるが、子どもが大きくなったら再び職業を持つ
- 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける
- その他
- わからない

Q7-2. あなたが、Q7-1 でご回答された理想と考えるライフコースに関する考えは、何から影響を受けましたか。 (いくつでも)

- 親
- 配偶者や配偶者の家族
- 友人やまわりの人
- 新聞、雑誌、テレビなどマス・メディア
- 職場
- 学校
- 行政が行う広報啓発活動
- その他
- 特に影響を受けたものはない *
- わからない *

Q7-3. 家庭生活などに関してあなたはどのようにお考えですか。 (それぞれひとつずつ)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
男性のみが働いて世帯の生計を支えることは、負担が重い	→	○	○	○	○	○
女性が職業を持って、収入を得ることは重要だ	→	○	○	○	○	○
女性が家事・育児などの家庭生活と仕事を両立することは難しい	→	○	○	○	○	○
男性が家事・育児などの家庭生活と仕事を両立することは難しい	→	○	○	○	○	○

Q7-4. あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである。」という考え方をどう思いますか。
(ひとつだけ)

- 賛成
- どちらかといえば賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- わからない

Q7-5. あなたは、日ごろ、仕事以外の生活について、どのように感じていますか。(ひとつだけ)

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば満足していない
- 満足していない
- わからない

Q7-6. あなたは現在、悩みや不安を感じていますか。(いくつでも)

- 自分の健康に不安があること
- 家族の中に、健康上の問題があったり、介護を必要とする人がいること
- 仕事が見つからなかったり、現在の仕事の収入が低く、十分な収入が得られないこと
- 将来、安定した収入を得られないのではないかとということ
- 仕事と、家事や育児、介護など家庭生活との両立が難しいこと
- 仕事と、自己啓発や地域活動など仕事以外のやりたいこととの両立が難しいこと
- ずっと一人で暮らしていくのではないかとということ
- 相談にのってくれる人がまわりにいないこと
- その他
- 現在、特に悩みや不安はない *

Q8. あなたのお住まいの地域をお選びください。(ひとつだけ)

- 北海道＝[北海道]
- 東北＝[青森][岩手][秋田][宮城][山形][福島]
- 関東＝[東京][神奈川][埼玉][千葉][茨城][群馬][栃木]
- 北陸・甲信越＝[富山][石川][福井][新潟][山梨][長野]
- 東海＝[愛知][静岡][岐阜][三重]
- 近畿＝[大阪][兵庫][京都][滋賀][奈良][和歌山]
- 中国＝[広島][岡山][鳥取][島根][山口]
- 四国＝[香川][徳島][愛媛][高知]
- 九州・沖縄＝[福岡][佐賀][長崎][大分][熊本][宮崎][鹿児島][沖縄]

■ 質問は以上で終了です。

■ 回答もれがないことをご確認のうえ、[送信]してください。

送信

取消

ご協力ありがとうございました。
受付完了まで、時間がかかる場合があります。
「受付終了メッセージ」が表示されるまでお待ちください。
